

春風秋雨相

江利川毅 県立大理事長



が展開された。

座長の近藤克則千葉大学教授

は、53市町村の約10万人の高

齢者に對して行つた手段的日常常

生活動作（外出、買い物、食事

煙、運動、飲酒の習慣である。

生活習慣病になるのは当人の悪

い生活習慣が原因と認識されが

てゐる。生活習慣とは食事、喫

煙、運動、飲酒の習慣である。

生活習慣病になるのは当人の悪

い生活習慣が原因と認識されが

てゐる。生活習慣とは食事、喫

煙、運動、飲酒の習慣である。

生活習慣病になるのは当人の悪

い生活習慣が原因と認識されが

てゐる。生活習慣とは食事、喫

煙、運動、飲酒の習慣である。

健康長寿は誰もが願つことのあり、その大敵の一つが非感染性疾患（がん、糖尿病、循環器疾患、呼吸器疾患等）である。わが国では生活習慣病と呼ばれている。生活習慣とは食事、喫煙、運動、飲酒の習慣である。生活習慣病になるのは当人の悪い生活習慣が原因と認識されがちであるが、本当にそうだろうか。

■社会要因も影響

私が理事長をしている公益財団法人医療科学研究所は、去る9月、「健康な社会づくりをめざして—健康自己責任論を超えて何をなすべきか—」といつてテーマでシンポジウムを行つた。

そこでは、個々人の健康に社会的要因も大きく影響していると

いう観点から、さまざま意見

あるならば、健康の保持増進は、個人の責任として取り組むべきこと、社会政策として國・地方や社会の責任として取り組むべきこと、二つの予

戸センター技官のローゼンバーグ博士は建造環境などの視点から、首都大学東京の阿部彩教授は子供の貧困などの視点から、東京大学の近藤尚己准教授

に対する差別や偏見が生まれる恐れがある点に配慮する必要があると注意喚起していた。包括

最近「岩盤規制」という言葉をよく耳にする。あたかもその規制を守るために抵抗勢力が群がつて改正に反対しているようないい印象を与える。しかし肝心なことは規制の中身の良し悪いで、長じること同じ規制が続いているかどうかではない。問題あるものは直していかなければいけないが、必要な規制ならばいい。岩盤規制でもいいのである。

岩盤規制＝悪というイメージを振りかざして、思考停止に導いているのではないかと思うこ

とがある。言葉がイメージを誘導する力について、話すときも

の準備、請求書の支払い、貯金防戦略が必要となる。今回のシノポジウムのテーマが「人」づくりではなく「社会」づくりなのがポイントであると述べられた。

岡県の取り組みについて、それぞれ発表された。医療科学研究所のホームページをご覧いただ

きたい。

シンポジウムを離れるが、用語の使い方について一言。私は、聞くときも注意が必要である。

国家公務員として何度も法律改

正に携わった。制度改革には課

一つの予防戦略必要

■「誤解」のまん延

なお、厚生労働省が2000年

に定めた「21世紀における国

民健康づくり運動（健康日本

があつた。日本福祉大学前学長

の二木立教授は「生活習慣病の

改善によ

る

（次回は12月17日付）

本21（第2次）2013～22年」延している。しかし、生活習慣摂取量は年々減つていて、加工食品用の塩の消費量もそれほとんど同じトレンドで減つていると指摘する。

パネリストは4人。WHO神戸センター技官のローゼンバーグ博士は建造環境などの視点から、首都大学東京の阿部彩教授は子供の貧困などの視点から、東京大学の近藤尚己准教授

に対する差別や偏見が生まれる恐れがある点に配慮する必要があると注意喚起していた。包括

最近「岩盤規制」という言葉をよく耳にする。あたかもその規制を守るために抵抗勢力が群

がつて改正に反対しているよう

な印象を与える。しかし肝心な

ことは規制の中身の良し悪いで、長じること同じ規制が続

いているかどうかではない。問

題あるものは直していかなければいけないが、必要な規制なら

ばいい。岩盤規制でもいいのである。

岩盤規制＝悪というイメージを振りかざして、思考停止に導いているのではないかと思うこ

とがある。言葉がイメージを誘

導する力について、話すときも

聞くときも注意が必要である。

国家公務員として何度も法律改

正に携わった。制度改革には課

（次回は12月17日付）